

H28年8月27日 発行

石屋の多趣味人生

その124

雨の中のツーリング

今回のお盆休みは急に思い立ち東北へ行ってきました。東北は山形、酒田の方へ足を伸ばしました。理由は宿がすぐ

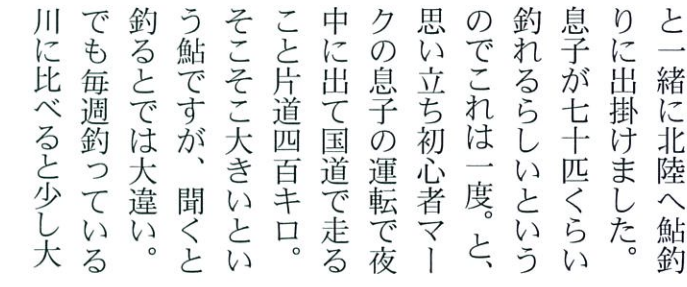


た。理由は宿がすぐ取れる事。宿を取ったのは旅行の前日。知り合いの東北出身の人に「東北はお盆でも空いているよ」と言われたのがきっかけでした。

事もあり最悪な条件です。車で行く事も考えたのですが、バイクで走るのが一番の目的の為、意を決して出発しました。ルートは自宅から途中越えをして若狭道へ入り北陸道を北へ上がる道です。案の定北陸道へ入るとすぐに雨。山形まではずつと雨でした。

着ると衣類が濡れる事も無くはじかれるため体温を維持できるのです。それとヘルメットの進化も凄いです。ヘルメットは今回新しいものに替えました。大事な体を守るもの

お盆休み



例年のお盆休みは普通に過ごしていましたが、今年は息子と一緒に北陸へ鮎釣りに出掛けました。息子が七匹くらい釣れるらしいというのでこれは一度、と

と一緒には事実でした。富山に住んでいる息子夫婦に「鮎送る」と言っていたのでついでに宅配すれば、向こうは「???」とびつくり。少しは喜んで貰えたと思いつつ、車中で一泊。別の川で鮎を釣り帰宅しました。釣果を見て家内が「これなら食べられるねえ」と。それまでは小さい

い鮎だったので食べてはくれなかったのですが、今回は大丈夫でした。いつもと違う川での鮎釣りもこれもまた楽しい。今年のお盆休みは結構有意義でした。

石坂 晴夫



今年の大文字

毎年、8月15日は友達に住んでいる松ヶ崎のマンションの屋上から、大文字を鑑賞させてもらっています。毎年楽しみにして、お邪魔させて頂いているのですが、今年の大文字はお昼までの晴天から一変して、とても



翌日の新聞の写真で、うつすらと「大」の字が見えており、火が付いていた事を知りました。小さい頃から毎年見てきた大文字は、とても大切な行事であり、今年のように「大」の字が見えないのは、天候とは言え、とても残念でした。

山本 夕起子

聴竹居

お盆前に大山崎にある聴竹居という古い住宅を見学してきました。聴竹居は昭和3年に作られた環境共生住宅の原点といわれる建物で藤井厚二という大正から昭和にかけて活躍した建築家とその環境共生という実験も兼ねて建てた自邸です。

建築的価値を考えれば、一般にあまり知られていないが意外に思えるほどの名所です。どうすごいかという日本の気候・風土にあった日本人の身体に合った住宅であるからです。具体的には天井高は当時としては高い2400mmを基準としており、パリアフリーである。夏の日差し

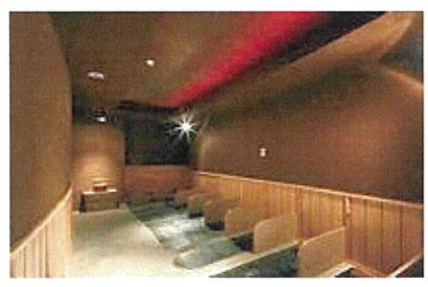
しを入れずに冬の日光を入れるような差しを入れるような屋根の軒先の角度が考えられている。サッシには熱や風を断つよう工夫が凝らされている。椅子は当時に椅子に座るのを慣れない人が椅子の上で正座できるような寸法で作られているなど。一見普通に見えるところで細かい部分も考えて作



古野 充宏

岩盤浴

先日、大津市のスパリゾート「あがりやんせ」へ行きました。館内は飲食店や漫画・テレビを楽しむリラクセスペ



イース、温泉、岩盤浴などがあり、1日たつぷり楽しむことができます。私たちの今回の目的は、岩盤浴。岩盤浴は老廃物や毒素を汗と一緒に排出し、身体を温めることで脂肪を燃焼し代謝を高めてくれるので、より痩せやすい体質に変えてくれる効果があります。さらに、質の良い汗をかき続けることで自律神経の調子を整えて、不眠症や冷え性、神経痛などの改善、他にもむくみや肩こりの解消にも効果があると言われ

れています。私もそんな嬉しい効果に期待しながら、汗をかいて水分補給を繰り返していました。いい汗をかいて、最後は温泉で洗い流し、最高に気持ちよかったです。癒されにきたはずが、汗をかいてすっかり体力は奪われましたが(笑)でも、旅行気分がよいリフレッシュになりました。京都駅から20分ほどでいけるので、月に1回を目標に通いたいです。

中西 恵梨